

## 平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	国際経済学(International Economics)		授業コード	E018801
担当教員名	板倉 理友		科目ナンバリングコード	E20410
配当学年	2	開講期	前期	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	ミクロ経済学とマクロ経済学を履修することが望ましい。			
受講心得	出席は毎回取ります。私語は慎んでください。			
教科書	プリントを配布します。			
参考文献及び指定図書				
関連科目	マクロ経済学、ミクロ経済学、経済分析			

授業の目的	本講義は国際経済学とはいかなる学問なのかを学びます。国際経済学は一般に国際貿易、国際金融論、国際マクロの領域に分けられます。貿易はなぜ起こるのか、なぜ必要なのか、その仕組みはどうか等、及び開放経済の下での金融政策や財政政策はどうあるべきなのか等について体系的な見方を養うことを目的とします。
授業の概要	なぜ、貿易が発生するのか、貿易の利益は何か等をまず理解をしてください。また、国際市場において均衡はどのように決定されるのか、経済成長と貿易の関係はどうか等々の国際貿易について学ぶと共に、為替レート等の国際金融論、市場介入効果の国際マクロについても学ぶ授業です。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：国際貿易の制度と歴史</b> 貿易・産業政策の基準としての比較優位の原理、自由貿易の歴史、戦後の通商制度の主な仕組み、通商政策等について学びます。	プリント配布、確認テスト・解答
<b>第2週：WTOの概要と問題点</b> ラウンド交渉の進め方、最恵国待遇、相互主義の原則、ガット多角的交渉の実際、関税率の引き下げから非関税障壁等々に渡るトピックスについて学びます。	プリント配布、確認テスト・解答
<b>第3週：WTOから自由貿易協定へ</b> 自由貿易地域と関税同盟の違い・共通点、貿易創出効果と貿易歪曲効果、FTAへの実体的なアプローチ等について学びます。	プリント配布、確認テスト・解答
<b>第4週：比較優位の原理</b> 貿易の歴史的な背景と意味、比較優位の原理とは何か、貿易の利益は何によって決まるか等を検討すると共に、実証分析の観点からみた比較優位論も学びます。	プリント配布、確認テスト・解答
<b>第5週：要素量賦存の命題</b> ヘクシャー・オリーンの定理とは何か、その定理の示唆すること、また要素価格均等化の定理、要素価格均等化の定理の意味等について学びます。	プリント配布、確認テスト・解答
<b>第6週：日本のFTA</b> 日本の対応の変化、堂々巡りする農業問題、外国人労働力の受け入れ問題、問われる日本の外交戦略等について学びます。	プリント配布、確認テスト・解答
<b>第7週：経済発展の原動力としての自由貿易</b> 生産のフロンティアを拡張する貿易、貿易の利益とは何か、交換の利益と生産の利益、窮乏化成長のケース等について学びます。	プリント配布、確認テスト・解答
<b>第8週：自由貿易と保護主義(1)</b> 幼稚産業保護の議論、産業調整のための一時的な保護政策、貿易摩擦と調整コスト等について学びます。	プリント配布、確認テスト・解答
<b>第9週：自由貿易と保護主義(2)</b> 戦略的貿易政策、その戦略的貿易政策はどこまで正しいかを検討し、またネットワーク型産業の隆盛と規模の利益について学びます。	プリント配布、確認テスト・解答
<b>第10週：国際収支</b> 国際収支表、その内容及び構成、経常収支、資本取引、国際収支勘定、国際収支の赤字、黒字とはどういうことを意味するのか等について学びます。	プリント配布、確認テスト・解答

<b>第11週：経常収支と国民所得勘定</b>		
経常収支の長期的な動向、経常収支と国民経済勘定との関係、対外純資産の蓄積とのリンク、貯蓄・投資バランスからの観点等について学びます。		プリント配布、確認テスト・解答
<b>第12週：国際取引と外国為替市場</b>		
国際決済と外国為替、外国為替市場とは何か、成長をとげる外国為替ビジネス、為替取引の自由化、国際決済のメカニズム等について学びます。		プリント配布、確認テスト・解答
<b>第13週：為替レートの決定</b>		
為替レートの予測が困難な理由、為替の理論を考察する意味、購買力平価説、アセットアプローチ、経常黒字国の通貨はなぜ切り上がるのか等について学びます。		プリント配布、確認テスト・解答
<b>第14週：国際マクロ経済学</b>		
マンデル・フレミング・モデルとは何か、マクロ経済モデルの開放化、金融政策の効果、財政政策の効果、不可能のトライアングル等について学びます。		プリント配布、確認テスト・解答、レポート課題
<b>第15週：為替レートと産業調整</b>		
為替レートの調整機能の限界、経常収支の改善効果、マーシャル・ラーナーの条件、Jカーブの理論、価格転嫁率と数量効果等について学びます。		プリント配布、確認テスト・解答
<b>第16週：期末試験</b>		
試験時間は60分で、計算問題を必ず1つは出題します。		
<b>授業の運営方法</b>	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
<b>備考</b>		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	①なぜ貿易が発生するのか説明できる。
<b>【知識・理解】</b>	②貿易政策の経済的效果を説明できる。 ③為替市場とは何かを説明できる。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	④交易条件がどのようにして決定されるのか説明できる。
<b>【思考・判断・創造】</b>	⑤保護貿易論について、その是非を検討できる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点		
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。	40点			
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			10点	
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。	40点			
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	レポートを課しますので、期日までに提出をしてください。
発表・その他 (無形成果)	確認テストに真面目に取り組んでいるかどうかで評価します。